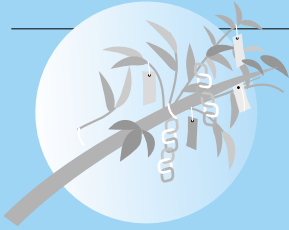


INTERKYOTO

インターキョウト



2005.7.7 No.26

社団法人京都府情報産業協会
発行：広報委員会

会長直言

(社) 京都府情報産業協会 会長 植田 弘毅

我々の仕事は残念ながら頭脳労働と見られていない評価基準として、システム価格の基準が人月工数であり、対ハード価格といった指標があるように思います。レガシーシステムの開発では、数億円の大型汎用機のシステム開発に数億円かかることは珍しいことではありません。ところがダウンサイジングによってハード価格は急速に下落しましたが、システム開発の工数はレガシーであろうとオープンであろうと大きな違いはない、というよりもネットワーク等システムの技術範囲が広範囲になった分増える傾向にありながらも、数百万円から数千万円のハードに対して数億円のシステム開発は通用しなくなったのが昨今の状況です。

先日、久しぶりに大型書店を覗きました。足は自然とIT関連のコーナーに向かいました。並んでいる書籍は、「ワード」「エクセル」「インターネット」「Linux」等々ハウツー系が多くを占め、エンジニアリング系が極端に少ないのが気になりました。レガシーシステム全盛期には、標準化による品質や生

産性向上策として、システム開発ツールやオペレーション自動化ツールを開発してきました。また、メーカーのユーザー会や業界の集まりでもこの分野が大きな活動の一つに位置づけられていました。ダウンサイジング、オープン化のトレンドから約10年、この時代に入社した社員は、今は企業の中堅として活躍しています。私はその中堅社員に言いたい。『今まで汗仕事で多くのシステム開発を手がけて来た諸君！これからも汗仕事に満足するのか？ 今までの開発経験を生かし、システム工学的考察を以てシステム開発の構造的改革、新しいオープンシステム開発ツールの開発に賭けて欲しい。これはSEの社会的責務であり、これを成し得た企業が勝利を手にする。』



情報 コラム

8

京都試作産業プラットフォーム

財団法人京都産業21 理事 増田 清

ソフトウェアの分野では、プラットフォームと言うと、OSやミドルウェアのような基本ソフトのことを言いますが、試作産業プラットフォームも同様の考え方で、試作という産業を支える仕組みのことを言います。

このプラットフォームは、さまざまな組織やシステムの組み合わせで産業全体を推進していくわけで、広い意味のビジネスモデルと言っても良いと思います。主な機能は顧客からの試作の発注を試作会社に取り次ぐという一種の商社的な役割が中心になるのですが、この中で特に重要な役割を果たすのがITシステムです。顧客からの試作の相談、注文の見積り、試作の進捗状況の把握、納入、入金という様なビジネスフローを効率的に行うことや、基本取引契約などを効率良く締結することなどを行います。

特に地域的に分かれた企業群の間を案件が往復するわけですから、ITシステム、特にWebシステムの特性が最も生かせる分野です。それゆえ、このITシステムの出来如何でビジネスの成否が決まると言っても過言ではありません。このシステムは特に人間系との親和性がポイントとなり、別の言葉で言うと、いわゆる使い勝手が重要となります。

このためにシステムは一種のアジャイル開発方式、あるいはプロトタイプング方式で開発されています。このような手法はどのような場合にも良いというわけではありませんが、特に人間系との親和性が重要なGUIを中心としたアプリケーションで有効となります。

一般にシステムはイベントドリブンのようなリアルタイムのシステム、データドリブンのようなデータベースを中心としたシステムなどに分かれますが、私はこのような使い勝手が重視されるシステムをGUIドリブンのシステムと呼んでいて、まずGUIのプロトタイプングから開発を始めことにしています。

このような業務システムが中心となったプラットフォームが完成すると、このプラットフォームがきっかけとなって、掛け声ばかりでなかなか進まない中小企業のIT化が進むのではないかと密かに期待をしています。

通常総会 開催報告

平成16年度 第2回通常総会 (3月29日)

協会設立5年目を迎え、さらなる飛躍を目指して



植田会長

平成16年度の活動を締めくくる「第2回通常総会」が、3月29日(火)平安会館において開催されました。植田弘毅会長の議事進行のもと、平成17年度事業計画案および予算案などについて審議、いずれも原案どおり承認されました。また、事務局から「APRICOT2005」や「ケータイ国際フォーラム」などの協賛事業が報告されました。

総会後の会員交流懇親会では、今後の協会活動や事業方針などについて積極的な意見交換がおこなわれました。



平成17年度 活動基本方針

協会が設立されて5周年を迎えます。これまでに府内地域産業の情報化促進、府民に対する情報関連技術の啓発・普及など、地域社会に貢献できる活動に取り組んできました。これからも、会員が保有するITに関するノウハウや人材を地域産業や府民生活の向上に役立てていきたいと考えています。また、関連諸団体・機関とのさらなる連携強化を図りつつ、研究調査事業による啓蒙活動や地域産業界が抱える問題に対しても前向きに取り組んでいきます。



会員交流懇親会で挨拶される長谷川副会長

平成17年度新体制 (敬称略)

は新任

会長(理事)	植田 弘毅	京都電子計算(株)
副会長(理事)	北山 寛巳	けいしんシステムリサーチ(株)
	長谷川 亘	京都コンピュータ学院
	畑山 正雄	(株)京信システムサービス
理事	河合 康博	アド・プロヴィジョン(株)
	木村 道也	竹菱電機(株)
	田中 正道	シーク電子工業(株)
	古川 峰生	(株)総合システムサービス
	松本 慎吾	島津エス・ディー(株)
	元田 武彦	(株)キャリアネットワーク京都
監事	池田 達夫	ワールドビジネスセンター(株)
	井上太市郎	スリーエース(株)
名誉会長	白石 雪翁	京都電子計算(株)
顧問	田中 義則	日本コンピュータファシリティ(株)
事業推進委員長	古川 峰生	(株)総合システムサービス
広報委員長	河合 康博	アド・プロヴィジョン(株)
経営委員長	木村 道也	竹菱電機(株)
技術委員長	山本 孝	島津エス・ディー(株)
地域情報化委員長	馬場 喜芳	バンテック(株)
事務局長	駒井 一正	京都電子計算(株)
事務局長補佐	和田 壽郎	京都コンピュータ学院
事務局員	奥村 良三	

府民セミナー

中小企業にとって 本当に儲かるのか? “情報化投資”

横田 宏信氏

(ソスピック(株)代表取締役社長)



2004年から2009年までの国内企業のIT投資傾向を見ると、年率2.4%増が見込まれるなど、非常に意欲的なようです。しかし、ここ数年、ITに対する企業の期待は、かつてのようなコスト削減や情報共有といった間接的なものでなく、経営へのより直接的な貢献(営業利益の増加、経営環境の整備など)が強く求められるようになってきました。

平成17年度 第1回通常総会(5月27日)

通常総会 開催報告

1年間の協会活動の成果を報告



平成17年度の第1回通常総会が、5月27日(金)平安会館において開催されました。平成16年度の事業報告・決算報告について、古川峰生事業推進委員長ならびに事務局による詳細な説明が行われ、いずれも異議なく承認されました。

総会に引き続いて開催された「府民セミナー」では、企業のIT投資に詳しいソスピック(株)代表取締役社長の横田宏信氏を講師に迎え、情報化投資の現状と課題について講演されました。講演終了後も活発な質疑応答が繰り広げられ、参加された多くの企業、府民の皆様から好評を得ました。



閉会の挨拶をされる北山副会長

平成16年度事業報告(概要)

協会知名度の向上と連携事業の取り組みに関して、時機を得た問題提起および京都府中小企業総合センターなどとの連携で開催したオープンセミナーはいずれも多くの参加者を得ることができました。研究事業による啓蒙活動については、経営委員会が中心となって、外部から専門家を招いて開催する経営研究会と、取り組み状況の情報交流を行う情報交換会を使い分けて、経営課題の理解度を深める工夫がなされました。また、技術委員会では、4つのテーマに基づいた検討会に、会員企業の社員が多数参加して切磋琢磨しています。協会の会員数については、正会員が60社、賛助会員が6社、新たに特別会員が加入し、増加基調を維持することができました。その一方で、活動成果が現れるまでに時間を要する「地域産業の課題に対する取り組み」に関して、当協会が果たすべき役割がどのようなものかというコンセンサスが不十分でありました。平成17年度はこの反省点を踏まえ、地域社会や企業、行政との連携をさらに強化していきます。

その反面、費用にばかり目が行き、IT投資の効果が不明確であったり、効果の表現が曖昧で、事後の検証が行われていない企業が少なくありません。これからの望ましいIT導入体制というのは、社内のIT部門やユーザー部門、SEだけでなく、経営層や経営企画部門などを取り込んで、経営ノウハウ不足を解消し、「費用対効果」を明確にすることが必要になってくると思います。

「IT投資は儲かるのか？」ではなく、「儲ける」のです。そして、その“エンジン”となるのは、経営ノウハウに基づいて、IT投資効果を定量的に算定できる人材だと思います。顧客企業とITベンダーが、定量的なIT投資効果ができるだけ広い範囲(経営・業務・設備)で共同算定し、その目標を実現するための導入努力を行うのです。顧客企業の儲けを最大化することが、ITベンダー企業とその社員を儲けさせるということを理解してください。



つまり、その3者間の利害関係は完全に一致しています。IT投資が減衰すれば、日本の労働生産性向上は益々危うくなるといわれています。是非、私たちが力を合わせてがんばりましょう。

「ANIAあいち大会」報告

事務局長 駒井一正

全国地域情報産業団体連合会の第27回全情連大会が「ANIAあいち大会」として、愛知万博（愛・地球博）開催中の愛知県で6月9日を中心に催された。名古屋市中区の名古屋観光ホテルをメイン会場に「はばたく中部...ものづくりと環境」を大会テーマとしてANIAおよび（社）愛知県情報サービス産業協会と（社）岐阜県情報産業協会の主催によるもの。日程は6月8日に事業・技術合同委員会と前夜祭、9日午前中に総会と各地域団体からの報告、午後から式典、基調講演、講演、フィリピン共和国サントス氏の報告、万博紹介の後、夕方から懇親パーティーに入り、約380名が参加と発表された。

翌10日は愛知万博を見学し、11日はゴルフ大会が開催された（なお、京都の参加者でゴルフへの参加はなかった）。

（社）京都府情報産業協会からは、前夜祭・大会・懇親会・万博などに4社6名が参加し、各県の同業者の方々と1年ぶりのなつかしい顔ぶれとの再会や新しい仲間と親交を深めた。

1日目

前夜祭は8日の夕刻から開催されたが、全情連大会で最も和やかで楽しいのが前夜祭だと思っている。ANIAの辻会長や平山事務局長をはじめ、全国から参加された長年の顔なじみの方々と語り合いは誠に楽しい一時で、生の情報交歓の場である。

2日目

9日の式典では、主催者挨拶として、（社）愛知県情報サービス産業協会長の田中富雄氏および全国地域情報産業団体連



ANIAあいち大会での総会風景

合会長の辻 正氏からそれぞれ歓迎の挨拶があった。引き続き来賓挨拶では、愛知県副知事の森 徳夫氏、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課長の小林利典氏と、総務省情報通信政策局地方情報化推進室長の村手 聡氏から祝辞をいただいた。

続いて行われた全情連表彰では、（社）京都府情報産業協会の名誉会長の白石雪翁氏が京都における業界発展に尽力した功績を称えて、辻 正氏から連合会長表彰を受けられた。

大会では、基調講演として「進化しつづける自動車のエレクトロニクス 環境問題とカーエレクトロニクス」と題して、トヨタ自動車株式会社常務の重松 崇氏による大変興味深い内容で、1台の車は各部分の制御とそれらをまとめるサーバーとが車内LANの形でコントロールされていると言う。車のレベルによってパソコンに直すと、1台から8台位が使われているとのこと。まさに事務所内の社内LANの様相である。

講演の「中部国際空港の現状と課題」（一部タイトル変更）と題した中部国際空港株式会社常務取締役廣地義範氏の内容も、直近の開港に向けた生の苦労話とその奇抜な解



挨拶をされる辻正ANIA会長

決策の数々に前夜の睡眠不足にも拘わらず眠気もなく聞き入ってしまった。

講演の後、翌日のあいち万博見学に向けた紹介が、愛知県国際博推進局総務課主事の横井 敦氏からビデオを交えた概要説明があった。話の中で「並び」と「歩き」が主になるので、ゆったりした気分で万博を楽しんでほしいとのアドバイスに「辛抱と根気」の心構えができた気がした。

最後に、フィリピン共和国貿易産業省長官のJuan B. Santos氏からフィリピンの産業紹介が通訳を介して行われて大会を閉じた。

会場を3階に移して懇親会が開催された。主催者挨拶では、ANIAあいち大会実行委員長である（社）愛知県情報サービス産業協会副会長の水谷多嘉士氏が、また来賓挨拶では、中部経済産業局長の小川秀樹氏、東海総合通信局情報通信部長の狩俣恭太郎氏、名古屋市市民経済局理事の金城直司氏から祝辞を述べられた。

本来は、挨拶の後は乾杯して食事となるが、今回のアトラクションは、名古屋雅楽会による

「管弦・舞楽」と格調高いもので、飲酒して見聞きするものではなく、本来は神殿でお神楽奉納として奏上されるもので、居を正して見聞した。ステージが狭く舞手も大変だったようである。何にしてもこれらを写真やビデオに収めることができたのは、この会場なればこそである。



名古屋雅楽会による舞楽

先にアトラクションがあり、辻ANIA会長の乾杯の発声で懇親会の宴がいつも通りに進行した。着座円卓での中華料理で、それぞれに円卓のメンバーで名刺交換し歓談した。併せて他テーブルの旧知の方々を紹介しあって和やかなうちに時間が経過し、閉会挨拶は（社）愛知県情報サービス産業協会副会長の長坂洵二氏が締められた。

なお、次回開催は辻会長預りと発表された。（前夜祭では非公式発表を聞いた気がしていたが）

3日目



愛知万博・日立館前にて

10日は京都を出る時には雨の予報であったが、日頃の行い良く曇りの中、午前8時にバスに分乗して出発、いよいよ万博・長久手会場へと向かった。観光バスの駐車場から会場・西ゲートまではそこそこ歩き、辿りついたら入場するのに先ず最初の並びが始まった。一人ひとりカバンを開き、中身を確認の後、空港のゲートと同じセンサーチェック手続で、ブザーが鳴れば更にチェックとなる。午前9時の開門までに到着しても会場に入るのに30分はかかる。企業パビリオンには予約なしではまず入れないとの前夜のアドバイスで、グローバルコモン（各国のパビリオンが集まったエリア）の1つから入館した。並ばずに入れるのはこれらのパビリオン。

しかし、実は企業パビリオンで長蛇の列を尻目に楽しい体験パビリオンに入る事が出来た。これは、京信システムサービス様のお陰で日立館にVIP扱いの予約が出来ていたのである。ここでの体験が帰ってからパソコンでアクセス出来て誠に良く出来たシステムである。

食事はスリランカのレストランでミックスカレーを主にサラダや、変わった食べ物にスリランカビールを加えると

一人2500円程になったが、本場の味を楽しめ、元気が出た。

各国のパビリオン観覧では、グローバルコモンの2つのエリアを制覇し、乗り物ではバッテリーでゆっくり走るグローバルトラムにも、また長久手会場内を上から見渡せるキッコロゴンドラにも乗れた。満員電車のような人ごみの土産物公式グッズ販売所も体験した。

入場前には、今回限りと密かに思っていたが、帰る頃には本日を事前調査として、もう一度訪問し、異文化コミュニケーションを楽しもうと思うところとなった。

締めくくりには、万博見物も各府県の団体との情報交換も大変意義深い第27回全情連大会「ANIAあいち大会」であった。ご準備いただきお迎えいただいた(社)愛知県情報サービス産業協会の皆様、(社)岐阜県情報産業協会の皆様、ありがとうございました。そして、今回ご参加いただきました京情協の皆様、ありがとうございました。

- 京情協からの参加者は
次の通り（順不同）
- 白石雪翁名誉会長
 - 植田弘毅会長
 - 古川峰生事業推進委員長
 - 上田治文経営委員会副委員長
 - 中川 敦経営委員
 - 駒井一正事務局長



京情協の参加メンバー（写真右から）古川事業推進委員長、植田会長、白石名誉会長、駒井事務局長

京情協・白石雪翁名誉会長 全国地域情報産業団体連合会会長表彰を受賞

6月9日開催の全情連大会「ANIAあいち大会」の式典において恒例の連合会長表彰が行われ、今年(社)京都府情報産業協会の白石雪翁名誉会長が、他府県の4名とともに受賞され、表彰状と記念品が辻正連合会長から授与された。表彰種別は「優秀役員表彰」で、平成5年に任意団体としてスタートし、7年間の活動と平成13年4月1日付で社団法人化するなど、京都府情報産業協会の設立と長年に亘りその運営に尽力し、京都府の情報産業の発展に大いに貢献したとして、その功績に対して表彰された。

白石名誉会長から同行した参加者の祝意の言葉に対し、これは私個人の受賞というより、京情協を盛り立てていただいた皆さんとともに(社)京都府情報産業協会にいただいたものであり、改めて皆さんに感謝申し上げたいとのコメントを頂戴した。



辻ANIA会長から表彰を受ける白石名誉会長

葵祭のヒロイン

5月15日（日）に開催された葵祭の斎王代に、京情協会員の(株)トーセ齋藤社長のご令嬢、齋藤綾子さん（21歳・同志社大 商学部4年）が選ばれ、無事、大役を務められました。



お知らせ

- 平成17年度 第1回経営研究会 開催 経営委員会
日 時：平成17年7月21日（木）15：00～17：00
場 所：京都全日空ホテル 2F 朱雀の間（京都市中京区堀川通二条城前）
テーマ：「プライバシーマーク取得に向けて」～その1. 申請までの準備
講 師：(株)京信システムサービス 執行役員 中谷 博志 氏
- 平成17年度 情報交換広場 開催 経営委員会
日 時：平成17年8月18日（木）17：30～20：00
場 所：ばるるプラザ京都（京都市下京区東洞院通七条下ル）
テーマ：「人材採用の各社取り組み」（予定）
- 平成17年度 京都情報化フォーラム 開催 技術委員会
日 時：平成17年10月14日（金）16：00～17：30
場 所：平安会館（京都市上京区烏丸通上長者町上ル）
テーマ：「携帯電話の限らない将来展望とその戦略」（仮称）
講 師：(株)NTTドコモ関西（予定）

会員だより

会員企業や社員の皆さんのユニークな取り組み・トピックスを紹介するコーナー。
我こそはと思われる方は、自薦・他薦を問いませんので、ぜひ事務局までお申し出ください。

元気印の企業紹介

エクセレンス(株)

お客様の信頼に応える強いSE集団を目指して！

Webによる受発注システムやインターネット・バンキングシステムなど、顧客ニーズに応える多様なシステム設計・開発に取り組んでいる『エクセレンス(株)』。真剣な表情でシステム開発に挑む精鋭スタッフ



中でも、総合供給監視システムは都市ガス供給網の末端にある関西地区約2700箇所の供給設備すべてを24時間体制で監視するもので、大地震が起きた際のガス漏れ等を現場へ行かずに即座に探知する優れたものです。その他にも、飲料メーカー向けに5階建ての倉庫で1時間にペットボトル約6000ケースの入出庫が可能な大規模自動倉庫システム構築に参画するなど、同社ならではのユニークな技術と発想が生かされています。

「今後は、制御系技術者を育成していきたい」と徳増篤律代表取締役。カーナビゲーションや半導体製造装置など各種制御システムを研究開発するプロジェクトチームに社員を派遣して、開発ノウハウや技術力のアップを目指しています。また、将来的には日本ではまだ知られていないERP（統合パッケージソフト）を掘り起こし、中小企業向けにソリューションを提供していきたいと意欲満々です。

京都市中京区蛸薬師通烏丸西入橋弁慶町228 AOビル2F
TEL 075-256-7872
URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/people/excel/>

(株)カスタムウエア

ユーザー密着型の総合ソリューションを発信！

オフコン・パソコンのハード販売、ソフト開発、メンテナンス、サプライなど、ITに関するすべての総合ソリューションをセールスポイントと考え、大企業では出来ないユーザー密着型のサービスを提供している『(株)カスタムウエア』。最近では、大手メーカーの基幹システムにおいて、インターネットIP/VANのルーター設定作業を一括受注し、厳しい品質基準や納期基準をクリアして全国110拠点の設定を完了しました。

ユニークな視点で
ITを見つめる！

また、独自の発想によるシステムの構築にも力を注いでいます。学校が長期休みの場合、生徒が自宅から学校のサーバーに接続し、必要な時に情報を得ることができる「自習用システム」は、学校関係者や受験生などから高い評価を得ています。今後は、こうしたノウハウを生かして、更に教育を支援するシステムの開発に力を注いでいきます。「常に初心を忘れず、ハード・ソフト導入のユーザーメリット効果を高めていける技術・サービスの発信をしていきます」。ユニークな視点でITを見つめる同社の夢は益々膨らんでいます。

また、独自の発想によるシステムの構築にも力を注いでいます。学校が長期休みの場合、生徒が自宅から学校のサーバーに接続し、必要な時に情報を得ることができる「自習用システム」は、学校関係者や受験生などから高い評価を得ています。今後は、こうしたノウハウを生かして、更に教育を支援するシステムの開発に力を注いでいきます。「常に初心を忘れず、ハード・ソフト導入のユーザーメリット効果を高めていける技術・サービスの発信をしていきます」。ユニークな視点でITを見つめる同社の夢は益々膨らんでいます。

京都市中京区間之町通竹屋町下ル楠町610 森ビル
TEL 075-213-4688

我が社のイチオシさん！

竹田 知左さん 竹菱電機(株)情報通信システム営業部

合唱で得た感動体験が忘れられません



私は以前、学生の時に50人程の合唱団に所属していました。学業とアルバイトの合間をぬっての練習は思った以上に大変でしたが、本番ではメンバー全員の声が一斉になってホールに響く瞬間、なんとも言えない一体感と高揚感、そして素晴らしい感動は、今でも忘れられません。社会人になってからもOBとして何度か参加しましたが、学生の時とは違い、さまざまな年代の方と交流することが出来、大変良い経験になりました。大きな声で歌うことは気分がとても晴れやかになり、ストレス発散にもなります。時間を見つけてまた歌いに行きたいと思っています。

私の今の目標は、仕事の上でも合唱の時に感じた一体感や感動を得ることです。日々の仕事は大変ですが、成果が出た時には、メンバーみんなと、そしてお客様と喜びを共有することが出来ればと思っています。そのためにも、毎日学ぶ姿勢を忘れずに、これからも元気ががんばっていきたくと思います。

編集 後記

インターキョウト26号をお届けします。京情協は協会設立（社団法人化）5年目の節目を迎え、府民生活の向上に寄与した更なる活動をおこなっていきます。広報委員会はこの活動内容をもらさず紹介させて戴きます。どうぞよろしくお願いいたします。

（広報委員会）

なお、広報委員会の新メンバーを募集しています！

京情協 WEB CONTENTS
<http://kyojyokyo.or.jp>